

## 消費者志向と市場の変化への対応

令和5年10月26日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

グローバル化における標準化は、消費者志向と市場の変化を有するものである。これら変化は、如実に企業経営への影響を与えるものである。

これらはグローバル企業がけん引する新しい現実と未来という魅力が、世界における消費者を虜にしているのである。

これらは新しい格差社会の形成を与えるものである。これらが既存現実と新しい現実という相違の格差なのである。

これらは、先端トレンドにおいては、その高揚は大きなものであり、彼らにおける時代先端性の現実は、若者を虜にするものである。

これらは価格と製品における、消費者判断の変化が存在するのである。グローバル化は他方において世界における標準化を有するのである。

国内市場における変化は、グローバル基準の受け入れというアベノミクスの変化は、その影響を大きく与えるものである。

これら変化という現実において、それに適合できるのは、常に若者なのである。

これらは家庭支出の変化などにおいて、消費者志向の変化を明確に理解できるものである。

インフレという新しい現実においても、消費者マインドの変化は存在するのである。

これら変化は否定できないものであり、企業においては、新しい市場における精査を合格しなくてはいけないのである。これらは新しい市場基準における企業構築への転換が求められるということである。

これら新しい消費者基準における企業製品の構築と価格提案は、新しい市場への参加における正しい選択なのである。